

第26回茨城県民歯科保健大会

平成29年11月19日（日）、茨城県歯科医師会館にて「健康は歯から～8020・6424をめざして」をテーマに、第26回茨城県民歯科保健大会が開催されました。式典では、茨城県 木庭保健福祉部長、茨城県歯科医師会 森永会長の主催者挨拶に続き、ご来賓の皆様から祝辞を賜りました。



歯科保健大会主催者挨拶(森永歯科医師会長)



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

開会行事に続き、「8020高齢者よい歯のコンクール」の最優秀1名、優秀5名、シニア賞1名、歯科医師会長特別賞3名の表彰が行われました。受賞者は、80歳以上でほとんど自分の歯を失わずに健康な口を保ち、他の模範となる歯科保健習慣を実践されている方々で、会場では、受賞者のお写真とプロフィールを映写し、日頃の生活習慣などを紹介しました。受賞者の生き生きしたお姿に、会場から大きな拍手が送られました。

次に、「親と子のよい歯のコンクール」の最優秀1組、優秀10組の表彰が行われました。受賞者は、親子ともに健康な歯を保ち、家族ぐるみで歯の健康づくりに取り組んでいる方々です。可愛らしいお子さんたちがステージに上がると、会場が笑顔に包まれていました。



親と子のよい歯のコンクール表彰



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

次に、県内の小・中学校から応募いただいた「歯と口の健康に関するポスターコンクール」の小学校の部・中学校の部、それぞれ、知事賞、教育長賞、歯科医師会長賞、優秀、佳作の表彰が行われました。会場では、作品をスライドで映写し、その素晴らしい力作が映されるたび、感心する声に沸いていました。

続いて「茨城県歯科保健賞」には、多職種連携による在宅医療の推進のために積極的に活動している「結城市地域ケア研究会（CTI）」様、「奨励賞」には、園児のフッ化物洗口を積極的に行っている「川妻認定こども園おひさま」様、歯科保健ボランティアとして普及啓発活動に尽力している「大島郁子」様、「初澤弘子」様が表彰を受けられました。



歯科保健賞 表彰

受賞者全員の表彰の後には、よい歯のコンクール受賞者を代表して、親と子のよい歯のコンクール最優秀鴻巣様より謝辞が述べられ、「自分が親にしてもらったように子どもの歯を大切に、健康な歯と体を守る気持ちをつないでいきたい」との言葉がありました。ポスターコンクール代表の中学校の部知事賞 田口さんは、「大切な歯を色とりどりのたくさんの花の上に描きました。これからも歯を大事にしていきたい」と述べられました。



受賞者代表 謝辞(よい歯のコンクール代表)



受賞者代表 謝辞(ポスターコンクール代表)

表彰式に続いて、県東西茨城歯科医師会食文化研究会の埴章一先生を講師に迎え「今日は『食べる』について考えよう!!」と題して講演が行われました。食べることは生きる基本であり、その環境を整えることが、健康づくりや介護予防につながっていく、そこに歯科の役割がある、と話されました。



埴章一先生 講演

会場前ロビーには「よい歯のコンクール受賞者メッセージ」、「歯と口の健康に関するポスター作品」等が展示され、受賞者の皆様のご家族と写真撮影をしたり、作品を熱心にご覧になったりする様子が見受けられました。また、茨城ご当地よ坊さん「みがこーモン」が会場で来場者をお迎えし、来場者との記念撮影に応じました。



ロビー展示
 よい歯のコンクール受賞者メッセージ
 歯と口の健康に関するポスター作品
 歯科保健賞受賞団体の取り組み
 ひとにやさしい器 ユニバーサルデザイン笠間焼



みがこーモンが来場者をお迎え

受賞者、ご家族、関係者の皆様、ご来賓の方々の多数のご出席、誠にありがとうございました。